



株式会社 松屋フーズ

〒177-0042 東京都練馬区下石神井四丁目1番7号

TEL : 03 (3904) 1121 (代)

http://www.matsuyafoods.co.jp

郵便はがき

1 7 7 8 7 9 0

料金受取人払

石神井局承認

5168

差出有効期間
平成19年6月
30日まで有効

切手不要

(受取人)

東京都練馬区下石神井4-1-7

株式会社松屋フーズ 総務部 行



個人情報保護のため氏名はご記入いただかなくて結構です。

住 所 (都道府県名)

(都・道・府・県)

性 別 男 ・ 女

年 齢 20代未満、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上

職 業 会社員、会社経営者・自営業、官公庁・団体職員、
専門職、主婦、無職、その他

株式投資歴 3年未満、3年以上10年未満、10年以上20年未満、
20年以上

該当する項目に○をお付けください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会：毎年3月31日
期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告掲載新聞 日本経済新聞
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
(電話照会先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
同 取 次 所 住友信託銀行株式会社
本店及び全国各支店
単 元 株 式 数 100株

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9887

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本中間報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間(2007年2月20日まで)です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差し上げさせていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL: 03-5777-3900 MAIL: info@e-kabunushi.com



株式会社 松屋フーズ

松屋

Interim Report 2006

第32期 中間報告書

2006年4月1日から2006年9月30日まで



[写真左上より(時計回り)]

- 豪州 牛めし
- 「松屋」石神井台店
- 「松八」川越店
- 松カツ定食
- 「松屋」和光市駅前店

第1四半期の業績不振を克服し、 足元の業績は回復基調にあります。 下期も引き続き「お客様第一」の 原点に立ち返り、業務に邁進いたします。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに当社2007年3月期中間期（以下、当中間期）の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長
かわら ぶき とし お
瓦 葺 利 夫

HIGHLIGHTS [単体決算ベース]

売上高

28,908 百万円

「Q・S・C」の改善努力、効果的な新メニュー投入等により、第2四半期以降の業績は回復基調に。7月修正計画比101.8%(前年同期比102.6%)の売上高となった。

経常利益

530 百万円

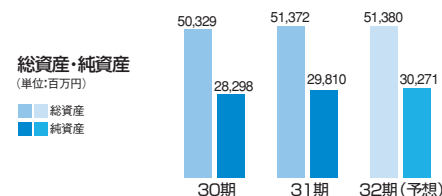
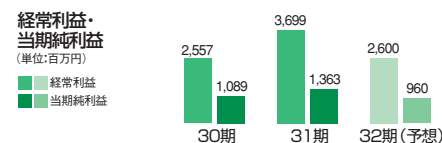
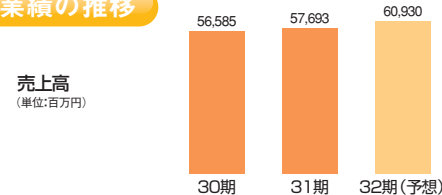
売上高は7月修正計画を上回ったが「主要メニューの量・質両面からのブラッシュアップ」等により原価率は上昇。結果、7月修正計画比96.4%(前年同期比29.7%)の経常利益となった。

中間純損失

99 百万円

業績の回復基調を受け、減損損失等の特別損失は7月修正計画比△282百万円。結果、中間純損失は7月修正計画比において大幅に縮小。

業績の推移



Q 当中間期の業績を振り返ってみての感想をお聞かせください。

A 当中間期の外食業界を取り巻く環境は、『米国産牛肉の輸入再々開』『既存店売上高の回復基調』等、一部で明るい兆しが見えてきたものの、同業他社との競争は熾烈を極めており、依然として厳しい経営環境下であります。

当社におきましては、第1四半期の『主力商品「牛めし」の食材変更』『自社精米工場による無洗米の導入』等による調理手順の大幅な変更の影響で、スムーズな店舗オペレーションに一部支障をきたした結果、既存店売上高の前年同期比(第1四半期対比)は93.0%と低迷し、7月に期初の業績予想の修正を余儀なくされました。

しかしながら、第2四半期から直近の足元にかけての状況は、『Q・S・C(商品・サービス・清掃レベル)の地道な改善努力』『効果的な新メニュー投入』等により、既存店の売上高は回復基調となり、9月単月では104.3%を達成いたしました。結果、当中間期の売上高は、前年度以降の新規出店による売上増加分等も寄与し、7月修正計画比101.8%(前年同期比102.6%)の28,908百万円となりました。

次に、当社において重視すべき指標として認識しておりますF/Lコスト(Food(売上原価)とLabor(人件費)に係るコストの合計)ですが、まず、売上原価につきましては、第1四半期の売上低迷を受け、販売促進策の一環として『主要メニューの品質向上及び増量』を行った結果、入客数も増え、売上の改善に大きく寄与いたしました。しかしながら売上原価率は7月修正計画比0.6ポイント(前年同期比2.1ポイント)上昇の32.9%となりました。

人件費につきましては、世の中の雇用環境好転に伴い、パート・アルバイトの平均時給が上昇基調にありますが、第2四半期以降の売上高の回復とともに、生産性向上を目標とした諸施策の効果が見られ、人件費率は7月修正計画比0.2ポイント(前年同期比1.3ポイント)上昇の32.7%と、ほぼ計画通りの水準に落ち着きました。

結果、利益面につきましては、売上高は7月修正計画を上回ったものの、F/L



↑ トロワワサビ牛めし(並:450円)

← ハッシュドビーフライス
(Mサイズ:290円)

肉野菜炒め定食(550円)



コスト比率は7月修正計画比0.8ポイント(前年同期比3.4ポイント)上昇の65.6%となったため、経常利益は7月修正計画とほぼ同水準の530百万円となりました。

中間純損失につきましては、業績の回復に伴う減損対象店舗の減少により、7月修正計画段階で織り込んでおりました減損損失額が大幅に減少したことから、7月修正計画比において大幅に縮小いたしました。

Q 米国産牛肉の輸入が再々開いたしましたが、使用の予定はありますか。

A 米国産牛肉の輸入禁止措置は、条件付きではありますが約2年7ヶ月ぶりの2006年7月27日に解除されました。

当社におきましては、米国産牛肉を使用した「牛めし」の販売休止を余儀なくされた2004年2月中旬から約8ヶ月間は「牛めし」を販売することはできませんでしたが、お客様の「牛めし復活」のご要望にお応えすべく、2004年10月には中国産とオーストラリア産牛肉をブレンド使用した「本格派 牛めし(並盛390円)」、翌年9月には中国産牛肉100%の「新作 牛めし(並盛350円)」そして現段階ではオーストラリア産牛肉100%の「豪州 牛めし(並盛350円)」を販売いたしており、多くのお客様からご愛顧いただいております。

米国産牛肉の使用の是非につきましては、お客様の視点に立った際、『食の安全・安心』は極めて重要な要素であります。2006年9月には、当社と取引関係にある米国の主要食肉加工会社の生産ラインを視察してまいりました。安全性の確保に関する疑問点については深くディスカッションし、生産工程全般をこの目で確認した今では、米国産牛肉はお客様に安心して食べていただけるものであると確信いたしております。

今後も引き続き、米国産牛肉を確保することのできる量及び仕入価格の問題はもちろんのこと、消費者の方々の消費動向等を総合的に勘案し、米国産牛肉を使用した各種メニューの販売時期、販売方法を見極めていきたいと考えております。



フィードロット(肥育場)

生産工程の視察風景

Q 新業態の状況はいかがでしょう。

A 成熟期にある外食市場において、当社が持続的に成長するためには、「松屋」業態に続く第2、第3の柱となる業態開発が必要不可欠であります。

当社では、様々な業態開発にチャレンジいたしておりますが、「とんかつ業態」及び「鮓業態」におきましては、各業態ともに店舗数は10店舗を超え、今後のチェーン展開を推進していくための基盤が確立できたと考えております。



「松八」練馬店

「とんかつ業態」につきましては、上期に「松八」4店舗「松乃家」1店舗の計5店舗を出店いたしました。特に「松八」は、既存業態「チキン亭」から装いも新たに開発した業態であり、落ち着いたモダン和風テイストの店舗空間において、リーズナブルな価格で満足感のある「ロースとんかつ定食」等をご賞味いただける業態です。客単価水準も「松屋」業態

より若干高く、「松屋」近隣立地であったとしても互いに切磋琢磨することにより、松屋グループとしてのシナジー効果が得られると考えております。今後も積極的に出店してまいります。

「鮓業態」につきましては、2006年3月に株式会社コバヤシフーズインターナショナルより「すし丸」等の回転鮓業態12店舗の営業を譲受けてから約9ヶ月が経過いたしました。この間、試行錯誤を繰り返しながら今後の回転鮓業態のモデルというべき「回転鮓 福松」新小岩店



「回転鮓 福松」新小岩店

をオープンいたしました。回転鮓の形態をとりながらも、より鮮度の良い、おいしい鮓を食べていただくために、立ち鮓の割合（カウンター越しでの注文割合）を多くしております。

また、2006年8月には本格的な高級鮓をお楽しみいただける「鮓 福松」吉祥寺店もオープンいたしました。

「とんかつ業態」「鮓業態」とともに、下期より社内カンパニー制の組織といたしましたので、よりスピーディーかつダイナミックな業態開発に励んでまいります。



Q 下期における展望をお聞かせください。

A 足元の業績も第2四半期以降、回復基調にあります。下期も引き続き、『お客様第一主義』の原点に立ち回り地道な努力を積み重ね、通期業績予想(単体ベース:売上高:60,930百万円、経常利益:2,600百万円、当期純利益:960百万円)を上回ることができよう、業務を推進してまいります。

また一方で、昨今の株式市場に目を向けますと、市場を取り巻く環境の変化に対応し、2006年6月に「金融商品取引法」が成立・公布されました。同法においては『上場企業は財務諸表を正しく作成できる体制が整備されているか否かを自己評価する「内部統制報告書」を作成し、監査を受けること』と規定されました。

これら時代の要請に対応すべく、コーポレートガバナンス（企業統治）の充実に向けての取り組みも推進してまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後も引き続き、より一層のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

松屋新業態のご紹介！

当社では、「松屋」業態のさらなる成長に加え、第2、第3の柱となる業態の開発に向け、日々チャレンジしております。本トピックスにおいては、特にワンコイン（490円）の「ロースとんかつ定食」をはじめ、カツカレーやチキンカツ定食、丼物など、多彩なメニューをリーズナブルなプライスで味わえる「松八」、当社が手掛ける新たな回転鮓モデルとして提案する「回転鮓 福松」を中心に「とんかつ業態」「鮓業態」を紹介いたします。



松八店舗の座席数は「松屋」業態のスタンダードな店舗（約20席）よりも多い約28席程度。カウンター席に加え、ご家族・ご友人そろって気軽ににお寛ぎいただけるテーブル席が多数配置されております。

モダン和風テイストのこだわりぬいた空間で味わうとんかつは、「味」はもちろん、その値段とボリュームにきっとご満足いただけることでしょう！



とんかつ業態

松八 川口店
松八 町田店
松八 川越店
松八 広島本通店
松八 浅草店
松八 練馬店

チキン亭 西新宿店
チキン亭 津田沼南口店
チキン亭 仙台中央店

松乃家 新宿大ガード店
松乃家 赤坂店

速報！ 回転鮓 福松

「すし丸」等、回転鮓業態に参入してから、はや9ヶ月。その間、試行錯誤を繰り返し、新たな回転鮓モデルが誕生いたしました！

回転鮓の形態をとりながらも、より鮮度の良い、おいしい鮓を食べていただくために、立ち鮓（カウンター越しに注文を受けて握る）の割合を多くしております。

その1号店が10月に東京・JR新小岩駅南口にオープンいたしました。是非一度、お立ち寄りください！



鮓業態

すし丸 蒲田1号店
すし丸 蒲田2号店
すし丸 小金井店
すし丸 吉祥寺店
すし丸 木曾店
すし丸 大井町店
すし丸 小岩店
すし丸 橋本台店
すし丸 古淵店

焼津丸 元八王子店

吉工門 立川店

福松 吉祥寺店
福松 新小岩店

「とんかつ業態」「鮓業態」の詳細は当社ホームページまで

<http://www.matsuyafoods.co.jp>



お待たせいたしました！松屋のケータイサイトがついに完成いたしました！！新キャラクター「ウシ松君」が松屋モバイル店の従業員として孤軍奮闘中です！
会員の皆様には、新メニュー情報等をいち早くお届け。今後は会員限定のさらなるお得情報を配信予定！手軽で便利な松屋ファンクラブ会員の登録（無料）は、トップ画面の「常連になる」からお入りください。是非ともお待ち申し上げております！！
ケータイサイトへのアクセスはこちら <http://ktai.at/matsuyafoods/>



連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

資 産 の 部				
科 目	当中間期 平成18年9月30日現在	前中間期 平成17年9月30日現在	前 期 平成18年3月31日現在	
流 動 資 産	9,228	10,067	10,963	
固 定 資 産	40,667	38,086	40,530	
有 形 固 定 資 産	23,964	23,245	23,889	
無 形 固 定 資 産	1,320	288	1,394	
投 資 そ の 他 の 資 産	15,381	14,551	15,246	
資 産 合 計	49,895	48,153	51,494	
負 債 の 部				
流 動 負 債	8,435	7,586	9,474	
固 定 負 債	12,001	11,153	12,207	
負 債 合 計	20,437	18,740	21,681	
資 本 の 部				
資 本 金	—	6,655	6,655	
資 本 剰 余 金	—	6,963	6,963	
利 益 剰 余 金	—	15,802	16,208	
そ の 他 有 価 証 券	—	△1	△0	
評 価 差 額 金	—	—	△5	
為 替 換 算 調 整 勘 定	—	△8	△9	
自 己 株 式	—	—	—	
資 本 合 計	—	29,412	29,812	
負 債 ・ 資 本 合 計	—	48,153	51,494	
純 資 産 の 部				
株 主 資 本	29,483	—	—	
資 本 金	6,655	—	—	
資 本 剰 余 金	6,963	—	—	
利 益 剰 余 金	15,873	—	—	
自 己 株 式	△9	—	—	
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△25	—	—	
そ の 他 有 価 証 券	△0	—	—	
評 価 差 額 金	—	—	—	
為 替 換 算 調 整 勘 定	△25	—	—	
純 資 産 合 計	29,457	—	—	
負 債 ・ 純 資 産 合 計	49,895	—	—	

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間連結株主資本等変動計算書（要旨）

当中間連結会計期間（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）

（単位：百万円）

科 目	株 主 資 本				評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計
平成18年3月31日残高	6,655	6,963	16,208	△9	29,818	△0	△5	△6
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△228		△228			△228
利益処分による役員賞与			△29		△29			△29
中間純損失			△76		△76			△76
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分				0	0			0
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)						△0	△19	△19
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△0	△334	△0	△334	△0	△19	△19
平成18年9月30日残高	6,655	6,963	15,873	△9	29,483	△0	△25	△25

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前 期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売 上 高	29,446	28,266	57,877
売 上 原 価	9,653	8,689	18,431
売 上 総 利 益	19,793	19,576	39,446
販売費及び一般管理費	19,114	17,821	35,676
営 業 利 益	678	1,754	3,769
営 業 外 収 益	156	116	268
営 業 外 費 用	236	185	362
経 常 利 益	598	1,686	3,674
特 別 利 益	10	224	251
特 別 損 失	494	534	1,124
税金等調整前中間(当期)純利益	115	1,376	2,801
法人税、住民税及び事業税	205	644	1,668
法人税等調整額	△13	53	△181
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	△76	678	1,315

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前 期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	786	2,599	6,705
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,966	△1,900	△5,888
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△309	△1,843	△780
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額(減少△)	△2,491	△1,144	36
VI 現金及び現金同等物期首残高	4,820	4,784	4,784
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,329	3,639	4,820

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

単体財務諸表

中間貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

資 産 の 部			
科 目	当中間期 平成18年9月30日現在	前中間期 平成17年9月30日現在	前 期 平成18年3月31日現在
流 動 資 産	8,275	9,429	10,249
固 定 資 産	41,285	38,709	41,123
資 産 合 計	49,561	48,138	51,372
負 債 の 部			
流 動 負 債	8,172	7,533	9,373
固 定 負 債	11,929	11,136	12,189
負 債 合 計	20,101	18,670	21,562
資 本 の 部			
資 本 金	—	6,655	6,655
資 本 剰 余 金	—	6,963	6,963
利 益 剰 余 金	—	15,858	16,200
その他有価証券 評価差額金	—	△1	△0
自 己 株 式	—	△8	△9
資 本 合 計	—	29,468	29,810
負 債 ・ 資 本 合 計	—	48,138	51,372
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	29,459	—	—
資 本 金	6,655	—	—
資 本 剰 余 金	6,963	—	—
利 益 剰 余 金	15,850	—	—
自 己 株 式	△9	—	—
評価・換算差額等	△0	—	—
その他有価証券 評価差額金	△0	—	—
純 資 産 合 計	29,459	—	—
負 債 ・ 純 資 産 合 計	49,561	—	—

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間株主資本等変動計算書（要旨）

当中間会計期間（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）

（単位：百万円）

科 目	株 主 資 本				評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計
平成18年3月31日残高	6,655	6,963	16,200	△9	29,810	△0	△0
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△228		△228		△228
利益処分による役員賞与			△22		△22		△22
中間純損失			△99		△99		△99
自己株式の取得				△0	△0		△0
自己株式の処分				0	0		0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)						△0	△0
中間会計期間中の変動額合計	—	△0	△350	△0	△350	△0	△0
平成18年9月30日残高	6,655	6,963	15,850	△9	29,459	△0	△0

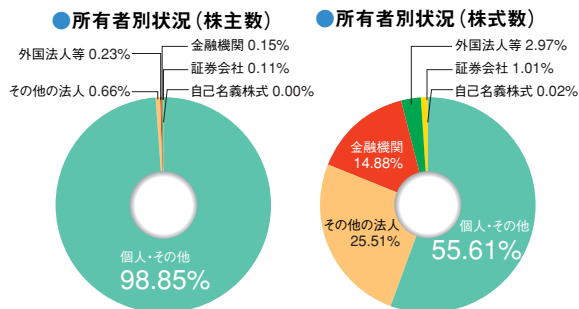
（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

●株式の状況 (2006年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	24,273名

●大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
瓦葺利夫	4,442,800	23.30
有限会社ティケイケイ	2,729,441	14.32
有限会社トゥール	2,000,000	10.49
瓦葺一利	753,500	3.95
瓦葺香	649,372	3.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	583,600	3.06
商工組合中央金庫	518,400	2.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	475,300	2.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	311,000	1.63
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	259,200	1.36



グループ会社紹介

(株)エム・ティ・ティ
厨房機器等のメンテナンス事業及び販売、店舗の建設施工管理、給排水工事

(株)エム・エル・エス
クリーニング事業及びリサイクル事業、廃棄物回収事業

(株)エム・ビー・アイ
採用・人事関連業務及び事務集中処理業務(シェアードサービス)

(株)エム・エム・シー・エー
教育研修業務及び教育ツール等販売、能力認定試験企画運営、店舗等監査

松屋フーズ開発(株)
立地開発及び契約更新業務

(株)松屋ファーム
農業及び農業の代行・受託

※(株)松屋ファーム、青島松屋快餐有限公司は、非連結子会社で持分法非適用会社。

●会社概要 (2006年9月30日現在)

設立 1980年1月16日
資本金 6,655,932千円
代表取締役社長 瓦葺利夫
従業員数 1,097名
売上高 576億円(第31期実績)
本社 東京都練馬区下石神井四丁目1番7号

2006年12月11日より、下記住所へ本社屋を移転いたします。
東京都武蔵野市中町一丁目14番5号

工場 嵐山：埼玉県比企郡嵐山町花見台4番地3号
富士山：静岡県富士宮市大字北山字峯4242番地4号
店舗 716店(直営706店、FC10店)
※海外9店舗を除く
事業内容 ・牛めし定食事業
・とんかつ事業、鮎事業、ラーメン事業 ほか
・フランチャイズ加盟店への食材等の販売及び経営指導

●役員一覧 (2006年9月30日現在)

代表取締役社長	かわら 瓦 葺 利 夫
専務取締役	さい 齊 兼 芳
常務取締役	くろ 黒 木 幹 生
常務取締役	みどり 緑 川 源 治
常務取締役	こ 小 松 崎 克 弘
取締役	さくら 桜 島 茂 雄
取締役	さ 佐 藤 雅 敏
常勤監査役	ひら 平 保 幸
監査役	ふじ 藤 田 保 幸
監査役	はま 濱 の 清 洲

青島松屋快餐有限公司
中華人民共和国における飲食店舗の運営
Matsuya Foods USA, Inc.
米国における持株会社としてのマネジメント業務等
Matsuya International, Inc.
米国における食材の仕入・加工・販売
Yonehama, Inc.
米国における飲食店舗の運営
Yonehama International, Inc.
米国におけるMatsuya Foods USA, Inc. グループの経理・事務・総務業務

教えて!松屋

第31期事業報告書のアンケートでは、1,523名の株主の皆様からご意見・回答をいただきました!



Q. 「松屋グリル」というお店を見かけましたが、通常の「松屋」業態とどこが違うのですか?

2006年7月に「松屋グリル西台店」がオープンいたしました。同店は、カップルや家族連れをターゲットとした新感覚の「松屋」です。こだわりの店内はBOX席を中心に、ドリンクコーナーを設け、客席から厨房内の調理風景も楽しめるよう設計しております。

メニューは、「松屋」の定番メニューはもちろん、「デミソースハンバーグ定食」(490円)等のリーズナブルなメニューから「黒豚の肩ロースステーキ」(1,050円)など素材にこだわった本格派メニューまで、幅広く取り扱っております。その他、お子様ランチやデザートも充実しており、グループや家族連れなどの幅広いお客様からのご期待にお応えしてまいります。

松屋グリル西台店
東京都板橋区高島平1-79-3 十三越ビル1F

Q. 松屋ではどのような飲酒運転対策を行っているのでしょうか?

飲酒運転による悲惨な事故が多発し、大きな社会問題となっている昨今、当社では、車を運転して来店されたお客様には「絶対に飲ませない!」を大前提に、店内での告知文の掲示や有線放送での呼び掛け、さらには従業員による運転有無の確認により、積極的に飲酒運転防止に努めております。

Q. 個食パックはどこで買えるの?

電子レンジかお湯で温めるだけで、「松屋の味」をご家庭でも簡単にお楽しみいただける冷凍個食パックは、一部店舗を除く「松屋」のお店でご購入いただけるほか、当社ホームページ内のオンラインショップよりお買い求めいただけます。

(<http://www.matsuyafoods.co.jp>)

さらに、専用フリーダイヤル0120-127-230でも承ります。
(受付時間:毎日10:00~18:00)

ますます身近となった当社
冷凍個食パック、是非一度
ご賞味くださいませ!



【アンケートに関するお願い】

当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。ご協力お願いいたします。



株主の皆様へアンケートのお願い

- 当社株式をどの位の期間保有されていますか。
a. 10年以上 b. 7年~10年 c. 5年~7年 d. 3年~5年
e. 1年~3年 f. 1年未満
- 今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか。
a. 売却 b. 長期保有 c. 買い増し
また、上記方針を決定するための判断材料は何ですか。(複数回答可)
a. 株価 b. 配当 c. 将来計画 d. 業績
e. その他()
- IR情報の提供手段としてどのようなものを希望されますか。
a. 株主通信 b. 投資家説明会 c. インターネットホームページ
d. IR広告 e. その他()
- 当社の「冷凍個食パック」をご賞味いただいたことはありますか。
a. ある → (4-1.4-2.へ) b. ない → (4-3.へ)
1. 問4で「a.ある」とお答えされた株主様へお聞きします。「冷凍個食パック」をご購入(優待券との引き換え含む)された回数は何回ですか。
a. 1回のみ b. 2~3回 c. 4回以上
- 4-2. 問4で「a.ある」とお答えされた株主様へお聞きします。「冷凍個食パック」のご購入手段は次のうちどれですか。(複数回答可)
a. 優待券との引き換え b. 当社ホームページより注文
c. インターネットショッピング(楽天市場ほか) d. スーパー/生協
e. 店舗で購入 f. テレビ通販 g. 電話注文
h. その他()
- 4-3. 問4で「b.ない」とお答えされた株主様へお聞きします。「冷凍個食パック」をご賞味いただいていない理由をお聞かせください。(複数回答可)
a. 知らない b. 知っているが購入しようと思わない
c. 購入方法がわからない d. 値段が高い e. 商品の種類が少ない
f. その他()
5. 当社へのご意見ご要望をお聞かせください。
()

ご協力有難うございました。